

平成 25 年度 動物実験に関する自己点検・評価

I. ルール及び体制等の整備状況

1. 機関内ルール（研究機関における動物実験等の実施に関する基本方針（以下、指針という）に適合する機関内ルールが定められている。）
適正に定められている。
2. 動物実験委員会(基本方針に適合する動物実験委員会（研究活動推進委員会）がおかれている。）
適正に置かれている。
3. 動物の実験の実施体制（動物実験の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか）
適正に定められている。
4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制（遺伝子組替え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか。）
該当する動物実験は、行われていない。
5. 動物実験の飼養保管の体制（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、実験動物管理者が置かれているか。）
適正な体制である。

II. 実施状況

1. 研究活動推進委員会（委員会は機関内ルールに定めた機能を果たしているか。）
適正に機能している
2. 動物実験の実施状況（動物実験の計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか）
適正に実施されている。
3. 安全管理を要する動物実験の実施状況（当該実験が安全に実施されているか。）
該当する動物実験は、行われていない。
4. 動物実験の飼養保管状況（実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は適正に実施されているか。）
適切に実施されている。
5. 施設等の維持管理の状況（機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか。）
適正に維持管理されている。
6. 教育訓練の実施状況（実験動物管理者、実験者飼養者等に対する教育訓練を実施して

いるか)

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

- ・ 評価結果の判断理由
東北公益文科大学における動物実験等に関する指針（平成 21 年 1 月 28 日制定）により、当該者自信に資質の向上に努めることを委ねてきた。
- ・ 改善の方針、達成予定時期
平成 26 年度からは、委員会から当該者に、関係する情報を提供し、組織的に教育訓練に関与することとした。

7. 自己点検・評価、情報公開（基本方針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか。）

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

- ・ 評価結果の判断理由
年度終了後速やかに自己点検・評価を行い、その結果を情報公開するよう努める。
- ・ 改善の方針、達成予定時期
自己点検・評価結果を大学ホームページ上に情報公開する予定。

8. その他（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成 25 年度動物実験件数

1 件